

# 第30回堺YMCAファミリーカーニバル 「みんな集まれ！ワイワイ楽しもう！」

「みんな集まれ！ワイワイ楽しもう！」をテーマに、10月13日(祝・月)に第30回堺YMCAファミリーカーニバルがカトリック堺教会で開催されました。「カーニバルを通し地域の青少年への奉仕及び社会奉仕活動を行うために、収益金をクリスマス献金に捧げる」、「ファミリーの交流をはかり堺YMCAを知っていただく」をねらいとし、リーダー・委員・ワイズメンズクラブ・スタッフとともに3カ月前からミーティングを行い、準備を進めてきました。カーニバルでは、ステージ・ゲーム・食べ物・クラフト・似顔絵コーナーと様々なブースを設け、チョコレートファウンテン、手作り肉まん教室などユニークな出し物



「みんな集まれ！ワイワイ楽しもう！」をテーマに、10月13日(祝・月)に第30回堺YMCAファミリーカーニバルがカトリック堺教会で開催されました。「カーニバルを通し地域の青少年への奉仕及び社会奉仕活動を行うために、収益金をクリスマス献金に捧げる」、「ファミリーの交流をはかり堺YMCAを知っていただく」をねらいとし、リーダー・委員・ワイズメンズクラブ・スタッフとともに3カ月前からミーティングを行い、準備を進めてきました。カーニバルでは、ステージ・ゲーム・食べ物・クラフト・似顔絵コーナーと様々なブースを設け、チョコレートファウンテン、手作り肉まん教室などユニークな出し物



や、毎年恒例のマジックショー、抽選会など大人気でした。どのコーナーもたくさんの人で活気に溢れ、参加者と開催者が共に楽しみ、一体感のある様子が見られました。カーニバルの常連さん、カーニバルに初めて参加する人からも「楽しい」という声を聞くことができ、とても幸せな気持ちになりました。今回は、なんと参加者427名！たくさんの方々の交流ができ、新たなつながりが、できたことをとても嬉しく感じています。これからも堺YMCAで「つながり」をたくさん築いて、大切にしていきたいと思っています。(河合愛美・堺YMCAユースボランティアリーダー)

## 教育を共に考える集い 不登校について講演・個別相談

中学校卒業後に学べるYMCAの三校(大阪YMCA国際専門学校国際高等課程国際学科、同表現・コミュニケーション学科、YMCA学院高等学校)合同による「教育を共に考える集い」を10月18日(土)にYMCA学院高等学校で開催しました。

2部構成のプログラムで、第一部の教育講演会では講師に羽下大信先生(甲南大学・大学院教授)を迎え、「不登校と高校中退」「学校との関係」を見直す」というテーマでお話をいただきました。



身近な事例を織り交ぜながら「不登校は、組み合わせの具合である」、「解決を求めるのでなくプロセスを大切に」、「親や子どもたちが孤独にならないようにする」、「学校は学習支援だけでなく、同世代の子ども同士で関わりができるように多様な機会を設けること」が大切である」と語り、「保護者や教育関係者など100名のご参加をいただきました。」

実り多い学びの時を得ることができました。

第二部では、フリースクール大集合(個別相談会)と題して、YMCAと関係のあるフリースクール27団体(フリス10団体、資料17団体)とYMCA校が参加して、個別相談会を行いました。1時間半の間に20組(フリースクール10組、YMCA10組)の方々のご相談に來られ、資料を抱えながら熱心に個別相談される光景に、保護者の皆さんの選択の幅を増やす機会になったのでは、と思いました。また、この会を通してフリースクールの方をはじめ多くの方々と語り合いながら交流を深める貴重な機会を得ることができました。(川端康博・YMCA学院高等学校スタッフ)

### 国際リレーエッセイ④



～シンガポールより～  
宇 壑 充洋 さん

環境が大きな影響を及ぼしているということ。こちらの日本人の子どもたちは、学校や幼稚園の通学は、家から学校までスクールバスで通っています。それは、暑さや安全の



マレーシア・ティオマン マリンキャンプ

10分も歩かないうちに「しんどい」との声が上がり、外遊びの少なさから子どもの体力のなさ、からだの身のこなしのぎこちなさを感じます。一方で現地の子どもたちは、少しでもいい学校に入るための競争が小学校から始まります。学校以外の時間には、多くの子どもたちが塾に通います。そのため、運動することが少なく、遊びもテレビゲームが多いので、肥満の子が多くみられます。

も若いスタッフが転職していきまます。そのため大阪YMCAのような「人が育まれていくプログラム、トレーニング」の展開はできません。このように様々な環境がもたらす子ども(人)の成長への影響の大きさを感じています。子どもたちの成長を育んでいくためには、周りの環境をどのように作っていくかがとても大切であることに改めて気づかされると同時に、そのことがYMCAの働きの一つであることを実感しています。

シンガポールに着任し、半年と少しが過ぎました。シンガポールは「Imported Sumatra」と現地スタッフが言うように様々な国の人や物や文化を街の中で見かけることができます。バスの中では、中国語、マレー語、英語、ヒンディー語と様々な言葉が飛び交っています。そんなシンガポールで生活をし、プログラムをする中で、あることの重要性に改めて気づかされています。それは、子ども(人の成長を育むことに周りの

対策でもあるのですが、ほとんど歩かず生活することができません。そのため、小学校高学年の野外活動でも

また、転職すると前に働いていたところよりも給料が基本的にはよくなるという制度があり、YMCAで

◆筆者紹介◆  
宇壑 充洋さん  
大阪YMCAスタッフ。  
現在、シンガポール・メトロポリタンYMCAに向向中。

### ホストファミリー 募集！！

この冬も台湾の彰化YMCAから日本語および日本文化を学ぶグループが大阪へ来ます。

YMCAで日本語を学ぶと共に、ホストファミリーの方々との交流を通して日本理解を深めます。是非この機会にご家庭を開放くださり、家族の一員として迎え、楽しくお過ごしいただければ幸いです。皆様からのご連絡をお待ちしております。

- 日程 2009年2月2日(月) 夕刻～  
2月12日(木) 朝までの計1泊
- ゲスト 台湾からの男女10名ほど(10代から50代)  
\*日本語力、英語力は様々です。
- 内容
- ・平日の朝から夕刻までは、日本語授業または課外活動です。
  - ・朝食と夕食をご用意いたします。
  - ・朝、夕の食費として1泊2,000円と、その他諸経費として別途5,000円をプログラム終了後にお支払いたします。
  - ・日常的な日本の家庭生活の体験が希望です。特別なごちそうやベッドなどのご配慮はおりません。
  - ・2月2日(月)の夕方、学生を迎えにYMCA上町校舎までお越し願います。

申込み締切 2009年1月5日(月)  
※ホストファミリーご希望の方が学生数を越えた場合は、先着順とさせていただきますので、ご了承ください。

問合せ・申込み  
大阪YMCA学院日本語学科 担当：中尾  
TEL 06(6779)8364  
FAX 06(6779)1833  
E-mail info-jp@osakaymca.or.jp